ふかがわ 市議会だより

第2回定例会（令和6年6月18日～26日）

◆可決した条例、補正予算など ……2～4P
◆教えて市議会 ……5P
◆一般質問 ……6～13P
◆全国市議会議長会表彰 ……14P
◆複合施設整備特別委員会中間報告 ……14P

No. 257　2024・8

令和６年８月１日発行

発行　深川市議会　　編集　広報編集委員会

ふかがわの未来を担う納内小学校の児童が本会議を傍聴しました。

この紙は再生紙と植物性インクを使用しています。

第２回定例会

物価高騰対策に係る補正予算案を可決

こんなことを審議し、決めました

条例	補正予算※	人事案件	意見書	付議事件※
3件	4件	2件	6件	5件

※補正予算　年度当初の予算（当初予算）に、追加・その他の変更を加えるために提出される予算
※付議事件　本市議会だよりでは、議案のうち条例、補正予算、人事案件、意見書以外のものを付議事件としています。

～第２回定例会のあらまし～

６月18日開会の第２回定例会に提案された議案は、条例３件、補正予算４件、人事案件２件、意見書６件、付議事件として報告２件、陳情１件、財産の取得１件及び工事請負契約の締結１件の合わせて20件でした。

うち、条例１件、補正予算４件、人事案件２件、財産の取得１件は、18日に全会一致または賛成多数で可決・同意・適任と答申。条例２件は、総務経済常任委員会及び厚生文教常任委員会の審査を経て、26日の最終日に全会一致で可決しました。また、26日は第１回定例会から継続審査としていた陳情第１号を全会一致で趣旨採択とし、追加提案の工事請負契約の締結１件、意見書６件を全会一致で可決したほか、18日に厚生文教常任委員会へ付託した陳情第２号は、継続審査としました。

Pick Up

補正予算　**物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業を含む補正予算案を可決**　賛成多数

６月18日開会の第２回定例会において、物価高騰への対応として、生活支援等を図るための各事業費が計上された令和６年度一般会計補正予算（第１号）を可決しました。

事業の中から主なものを紹介します。

定額減税調整給付金事業

令和６年度税制改正により、デフレ脱却のための総合経済対策として、６年分所得税及び６年度分個人住民税の定額減税を十分に受けられないと見込まれる方に、定額減税しきれない額の合計額を万円単位に切り上げて給付金として交付するものです。

エネルギー・食料品価格等物価高騰支援給付金

物価高騰等に直面する低所得者を支援するため、令和６年度新たな住民税非課税世帯及び新たな住民税均等割のみ課税世帯に対して、１世帯当たり10万円を給付し、こども加算として、18歳以下の方１人当たり５万円を給付するものです。

【主な議案】

■工事請負契約の締結について（新車両センター建築工事）　全会一致

道路の除排雪や維持作業などを行うための拠点施設となる新車両センター建築工事について、地域限定一般競争入札を６月12日に執行、２億８２７０万円で株式会社樋口組が落札し、仮契約を締結したもので、本契約の締結について議会の議決を得るものです。

■財産の所得（複合施設建設事業用地）　全会一致

生涯学習機能とバスターミナル機能等を併せ持つ複合施設の整備を図るため、深川駅西側を適地と選定し、土地所有者と取得交渉を進め、買収予定地９筆、５７５４・３６平方メートルを、７０９１万４０２０円で市が取得することで協議が調ったことから、建設事業用地を取得するものです。

■深川市税条例の一部を改正する条例　全会一致

地方税法等の改正に伴い、個人住民税の定額減税に係る算定方法や通知方法等を法令の定めにのっとって新たに定めるほか、固定資産税において、災害時等における職権による減免を可能とする規定を追加するなど、所要の整備を行うものです。

■指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例　全会一致

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴い、事業所の運営規程の概要やその他重要事項について、事業所内での書面掲示に加え、原則としてウェブサイトに掲載することを令和７年度から義務づけるなど、所要の整備を行うものです。

■教育委員会委員の任命　同意

阿部　みどり　さん

教育委員会委員　阿部みどりさんの任期満了に伴い、引き続き同氏を任命したいとの提案があり、全会一致で任命に同意しました。

■人権擁護委員候補者の推薦　適任と答申

新谷　美智子　さん

旭川地方法務局長から依頼がありました人権擁護委員の候補者として、新谷美智子さんの推薦があり、全会一致で適任と答申しました。

市議会だよりに掲載しきれなかった案件はHPで確認できます。

議決結果

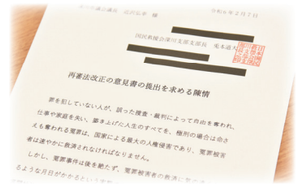
意見書６件を全会一致で可決し、内閣総理大臣等に送付しました。

- ■刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書
- ■厳しい農業情勢を打開する改正基本法と関連法案を求める意見書
- ■生涯を通じた歯科健診の実現を求める意見書
- ■ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
- ■義務教育費国庫負担制度堅持・負担率２分の１への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
- ■２０２４年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

Pick Up

陳情審査　陳情第１号 再審法改正の意見書の提出を求める陳情

全会一致で趣旨採択に決定
深川市議会として意見書を提出



令和６年第１回定例会において、陳情第１号「再審法改正の意見書の提出を求める陳情」が総務経済常任委員会に付託され、委員会を３月８日、５月27日及び６月21日の３回開催し、慎重に審査を行いました。

この陳情の趣旨は、冤罪被害者の一刻も早い救済のため、再審請求手続きにおける全面的な証拠開示を制度化すること、再審開始決定に対する検察官による不服申し立てに制限を加えることを国において速やかに実行するよう要望する、関係省庁への意見書の提出を求めるものです。

審査の中で、伊藤副委員長から「陳情の趣旨には賛同するが、刑事訴訟法の再審規定の改正は、法に携わる専門家が幾度となく協議を重ねていると認識しており、法の専門家ではない地方議会としては、地域住民の人権を守るという観点から、冤罪を生まない社会の構築のため、国及び関係機関において速やかに再審規定の改正がなされるよう求める意見書を提出したい。」として発言趣旨に沿った意見書の提出があり、意見の開陳後、伊藤副委員長から提出のあった意見書を全会一致で関係機関に送付すべきものとし、陳情第１号を全会一致で趣旨採択すべきものと決定しました。

その後、６月26日の令和６年第２回定例会最終日の本会議において、宮澤委員長が審査内容を報告し、陳情の趣旨採択と意見書の提出を全会一致で決定しました。

賛否が分かれた議案

		議員名（議席番号順）														議決結果▼
		伊藤美恵子	新田旺	有働正夫	村上誠	松原やす子	佐々木一夫	大前昭代	田畑陽美	北村薫	近沢弘幸	鶴岡恵司	宮澤孝司	松本雅祐	山本時雄	
第２回定例会	令和６年度深川市一般会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	●	●	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
	令和６年度深川市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	●	●	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
	令和６年度深川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	●	●	○	○	○	－	○	○	○	○	可決

※賛成＝○、反対＝●、近沢弘幸議長は採決に加わりません。

林活議連で第74回北海道植樹祭に参加

左から有働事務局長、
山本副会長、田畑会長

深川市議会では、本市の森林・林業の活性化と山村経済の振興に寄与することを目的に、全議員で構成する森林・林業活性化推進議員連盟（以下、林活議連）を設置しています。

５月19日に苫小牧市で開催された第74回北海道植樹祭に、林活議連を代表し田畑会長、山本副会長、有働事務局長の３人が参加し、森林づくりへの理解を深めました。

教えて市議会

市議会議員ってどんな仕事をしているの？

今号では、あまり知られていない議会の役割や議員の仕事について紹介します。

① 地域住民の声を聴く

地域が抱える課題を把握し解決方法を考えるため、住民から生活上の困り事や市政に対する願いなどを伺うことは、議員の重要な仕事です。そのため、住民との対話、地域や団体などの行事に参加し、地域の状況や要望等を聞き取るよう努めています。

また、議会としても各常任委員会では、その時々に応じたテーマを決め、市民や関係団体との意見交換を行っています。

令和５年度は、拓殖大学北海道短期大学生や小中学校ＰＴＡ役員と意見交換しました！

② 市政課題や先進事例の調査

議員は、市の担当者から市政の現状を聞き取るだけでなく、施設等に赴き現地調査も行っています。

また、他市の先進的な事例、特色ある取組を詳しく知るために、常任委員会等で行政視察を行っているほか、政務活動費を活用するなどし、会派ごとに調査研究や研修に取り組んでいます。

議員活動に生かすため、日々の研さんに努めています！

③ 本会議・委員会での議論

本会議・委員会では、市政課題を解決し深川市をよりよくしていくため、市民の皆さんの生活や市の事業の進め方等に関わる条例・予算などを審議し決定しています。

また、一般質問では、議案とは関係なく、市の施策の状況や方針などの説明を求め、適切な市政運営を進めているかをチェックしています。

行政運営の監視は、議会が担う重要な役割です！

④ 活動内容の周知・報告

本会議での審議結果や一般質問の内容は、YouTubeでの本会議映像配信や市議会だよりへの掲載、議会報告会の開催などを通じて、市民の皆さんにお伝えします。

議場やＷＥＢで市議会を傍聴しませんか！？

YouTube
深川市議会YouTubeチャンネル

市議会だより
バックナンバー

第２回定例会で行った10人の議員の一般質問を紹介します。

宮澤孝司（みやざわたかし）議員
「令和公明クラブ」

無電柱化工事の進捗状況は
令和８年度に全て完了予定

Ⓠ 市街中心部の本町通りでは、上下水道の移設、電線共同溝の埋設、歩道のバリアフリー化等の整備により、無電柱化が進んでいる。着工から６年が経過するが、無電柱化工事の進捗状況について伺う。

Ⓐ 本町通りでは現在、国・北海道それぞれの道路管理者による無電柱化工事が進められており、国道２３３号は令和６年度中に完了予定です。道道深川雨竜線は、当初計画では令和10年度までの約10年の事業期間を見込んでいましたが、全区間の電線共同溝完成後に入線、電柱撤去を開始する方式に変更するなどし、現状は８年度中の完了を見込み工事が進められており、おおむね順調に進捗しています。

駅前通りの歩道整備について

Ⓠ 駅前通り歩道の整備から約30年がたち、ロードヒーティングは停止、歩道ブロックは不安定で歩行に支障を来している。令和８年には駅西側に複合施設を建設予定だが、今後の歩道整備の考えを伺う。

Ⓐ 北海道では無電柱化及びバリアフリー化事業を推進しており、現在進められている道道深川雨竜線に加え、その後は道道旭川深川線の整備が予定されています。これら２路線の整備が完了した後に、駅前通り歩道のバリアフリー化整備を計画していることを北海道に確認していますが、時期は未定となっており、複合施設の建設も踏まえ早期の事業着手に向け、引き続き北海道への要請活動を継続していきます。

無電柱化の推進：北海道開発局HP

無電柱化された市道蓬莱通線

有働正夫（うどうまさお）議員
「公政クラブ」

市の人口減少対策について
人材育成で推進体制を強化

Ⓠ 民間組織の人口戦略会議が発表した報告書では、深川市を含む北海道内の１１７市町村は将来的に消滅の可能性があるとされた。魅力発信を行う専門人材の育成など、市の人口減少対策について伺う。

Ⓐ 本市では、専門人材として自らが移住を経験している地域おこし協力隊と移住支援員を配置し、移住希望者に寄り添った支援を行っています。また、昨年10月に実施した機構改革では、人口減少対策と移住・定住施策が一体的に推進できるようまち未来推進課を新設し、推進体制を強化した中で人材育成にも取り組み、今後も国の動向や社会情勢の変化に柔軟に対応し、魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。

避難所へのペット同伴避難について

Ⓠ 有事の際には、多くの方が避難所で生活を共にする。避難所へのペット同伴避難は、動物アレルギーを持つ方への配慮など、対応策をしっかり考えておく必要があるが、市の考えと対策について伺う。

Ⓐ 本市では、環境省のガイドラインを参考に、平成29年３月に避難所運営マニュアルを作成し、避難所を運営する際のペット同伴避難に関するルールの例として、ペットは避難者の居住空間ではなく、別室を設けゲージ内で飼育するか、屋外のひさし等がある場所に飼育場所を確保することなどを定めています。災害時の対応について、引き続き防災教室や防災訓練の機会を活用し、周知に努めていきます。

避難所運営マニュアル等について：市HP

松原やす子（まつばらこ）議員
「日本共産党」

救急患者の対応について
治療を第一に考え対応する

Ⓠ 市民が早朝に転倒し救急車を要請した際、市立病院へ搬送されず他市の病院に搬送され、なぜ市立病院に搬送されないのかと疑問を抱いていた。他市の病院へ直接搬送される場合の対応について伺う。

Ⓐ 救急事案が発生し、救急隊から市立病院へ受入要請等があった場合は、患者の容態について報告を受け、受入れの可否を決定しています。なお、整形・産科事案で医師が専門的な治療が必要と判断した場合は、近隣の医療機関へ直接搬送することとしており、特に整形事案は、救急隊からの報告だけでは確定的な診断が困難な状況もあるため、治療を第一に優先し救急対応に当たっていく考えです。

こども誰でも通園制度について

Ⓠ 子育て世代を対象に新設されるこども誰でも通園制度は、親の就労の有無等にかかわらず誰もが保育園を利用でき、令和８年度から本格実施される。本制度の利点や欠点、今後に向けた市の考えを伺う。

Ⓐ １歳児から利用可能な従来の一時的保育事業と違い、生後６か月から利用でき、保護者にとって大きな利点と考えますが、一部自治体で実施されている試行事業では、子供１人当たりの利用時間は月10時間が上限とされ、子供が施設に慣れるための十分な時間が確保できない欠点が指摘されています。在園児に対する安全な保育環境を確保しつつ、本制度が円滑に開始されるよう保育所等を支援していきます。

こども誰でも通園制度：こども家庭庁HP

佐々木一夫（ささきかずお） 議員
「れいわ新選組」

道の駅独占状態は問題では
特段制限のない公募で適切

Q 市民の公共財産である道の駅では、昨年末に募集要項を改悪しテナント公募、応募者複数にもかかわらず1社の3コーナー独占が続いている。行政の公平性と公共施設の在り方として問題と考えないか。

A 公共施設における公平性の確保は大切な視点であると考えています。その上で、今回の道の駅のテナント募集要項は、特段の制限を設定することなく、広く募集できるように配慮されていると理解しています。また、深川振興公社において、公募による一連の手続を経て、適切にテナントが決定されていると判断しており、公共施設におけるテナント選定として特段の問題はないと受け止めています。

落札率95％超は談合の疑い

Q 市長は市議時代、庁舎建設工事落札率100％契約議案への私の反対討論に議事進行し、発言削除に連なった。豊頃町不正入札を新聞は落札率98％と報じた。落札率95％超は談合の疑いは社会常識では。

A 当時、議会という公然の場で、一企業に対し根拠のない疑いをかけること自体が失礼に当たるとして、佐々木議員の反対討論に議事進行を行いました。なお、他町で起きた事件は大変遺憾なことであり、あってはならないことと考えます。また、落札率95％超の入札は談合が疑われるという見識が社会の一部に存在することは知っていますが、市としては、その見識が社会常識といった考えには立っていません。

道の駅ライスランドふかがわHP

道の駅ライスランドふかがわ

新田 旺（にった あきら） 議員
「民主クラブ」

市外イベントで市のPRを
引き続き魅力発信に努める

Q さっぽろオータムフェストなどの市外イベントへの参加は、市の魅力をPRできる絶好の機会だと思う。市内の飲食店や特産品を扱う事業者と行政が一体となり、市外イベントへ参加する考えを伺う。

A 市外でのPR活動は、ふるさと納税や事業者支援につながる重要な取組と捉えており、コロナ禍以前は、市内事業者と共にさっぽろオータムフェスト等に出展していました。令和5年度からは深川物産館と協力し東京都江東区や宮崎県都城市でのイベント参加や、都市部を中心とした活動に注力し一定の成果が上がっており、引き続き関係団体等と連携し、費用対効果を見定めつつ市外での魅力発信と特産品PRに努めていきます。

摂食障害に悩む家族へのサポートを

Q 近年、若者の摂食障害患者数がコロナ禍以前より1・5倍に増加しており、摂食障害に悩む家族を行政が支援する取組の例もある。こどもまんなか社会の実現にも資すると考えるが、市の考えを伺う。

A 北海道では、精神保健福祉センターにおける摂食障害の相談窓口や、摂食障害を考える家族の会を設置し相談対応を実施しています。本市では、市民から摂食障害に関する相談があった場合は、保健師や管理栄養士等による丁寧な対応を行い、医療機関や保健所、精神保健福祉センター等の関係機関へつなげていくほか、健康教育などの機会を活用し、正しい知識の普及に努めていきます。

精神保健福祉センター（相談のご案内）：北海道HP

市外イベントでのＰＲ活動

大前昭代（おおまえあきよ） 議員
「民主クラブ」

障がい者雇用の支援体制は
関係機関と協力し就労支援

Q 障がい者の雇用数は20年連続で過去最多を更新したが、法定雇用率達成企業は全体の約半数にとどまっている。障がい者の意思決定に寄り添う就労支援体制の構築が必要と思うが、市の考えを伺う。

A 一般就労が困難な方が利用できる障がい福祉サービスに加え、北空知障がい者支援センターあっぷるでは、一般就労への移行に際し、ハローワーク深川への同行支援を行っているほか、ハローワーク深川では、ハローワーク滝川に在職する障がい者雇用の専門職員と連携した相談対応や、雇用事業主に対する費用助成などを行っています。今後も障がい者の社会参加に向け、関係機関と協力し取り組んでいきます。

将来の不安を払拭する高齢者支援を

Q 認知症患者と認知機能が低下する軽度認知障害の割合が増加し、30年後には65歳以上の3人に1人が症状を持つと予想される。尊厳を保持し希望が持てるよう共生社会構築に向けた考えや施策を伺う。

A 市では、認知症に関する映画会や講演会、認知症サポーター養成講座等を実施し普及啓発に取り組んでいるほか、認知症患者が自ら意向を発信し、家族や関係者で語り合う機会を持てるよう認知症カフェに取り組んでいます。また、早期から多様な支援に結びつけるチームオレンジの立ち上げなど、認知症患者やその家族、地域住民が安心して生活できるよう、関係機関と連携し取組を進めます。

認知症サポーターになりませんか：市HP

認知症カフェのチラシ

伊藤美恵子（いとうみえこ） 議員
「民主クラブ」

プラスチックごみの資源化
関係団体と連携し検討する

Q 地球温暖化対策、プラスチックごみによる海洋汚染対策など、環境に配慮した循環型のごみ回収・処理が求められている。プラスチックごみを燃やせるごみから、資源ごみとして回収する考えを伺う。

A 現在、プラスチックごみは、燃やせるごみとして収集後、北空知衛生センター組合の中継施設を経由し、中・北空知廃棄物処理広域連合の焼却施設で処理を行っています。プラスチックごみを資源ごみとして収集するには、市民の皆さんの理解と協力を得ることが必要であり、関係する団体や自治体と十分連携を図りつつ、協議・調整を進め、地域の将来にとって、より良い方向となるよう取り進めていきます。

子ども・子育て条例の制定について

Q こども基本法に基づく子ども・子育て条例の制定が今年度中に予定されており、子供に関する施策や支援体制の充実が期待される。本条例の目的や基本的な考え、条例制定までのスケジュールを伺う。

A 子ども・子育て条例は、少子化が進行する中、子供たちが健やかに育ち、将来に希望が持てるよう、家庭、地域、行政等、それぞれの役割を担いながら、切れ目ない支援に社会全体で取り組むための礎となる理念条例とすることを目的としています。なお、条例の制定に向け、中高生を対象とした学生タウンミーティングを10月に開催し意見を反映する考えであり、来年3月の市議会定例会で条例案を提案する予定です。

こどもまんなか応援サポーター宣言：市HP

こどもまんなか

村上誠（むらかみまこと） 議員
「公政クラブ」

若者の意見を聴く機会を
意見を聴く場の開催を研究

Q 市内在住の若者と意見交換会を実施し、市に対して多くの意見や期待を持っていると感じた。市内小中高校生、短期大学生が自由に話し合いのできる場を設けてはどうかと思うが、市の考えを伺う。

A 若者が地域に関心を持ち、ふるさと深川への誇りや愛着を育むことは、まちづくりを進める上で大変重要なことと考えており、これまでも中学生を対象としたふるさと深川未来への提言パネル展等を実施しています。また、新たな取組として、6月28日から市内5地区で開催する市長タウンミーティングの開催状況等を踏まえ、市内小中高生、短期大学生の市政に対する意見を聴く場の開催を研究していきます。

市立病院の分娩対応について

Q こどもまんなか社会に向けた取組を本年度の重点事業と位置づけている市にとって、安心して出産できる体制を構築することも必要と思う。市立病院におけるこれまでの分娩対応と今後の考えを伺う。

A 現在、産婦人科は週2回出張医による外来診療を行っており、婦人科疾患や妊婦健診、産後ケアのフォロー等を対応しています。市内で出産できない不便さは十分に認識していますが、常勤医の確保は非常に難しい課題であり、北海道医療計画と整合性を図り、引き続き医師確保に努めていきます。また、妊婦健診など当院で対応できる医療は、関係機関と連携を図りながら今後も対応していきます。

深川市立病院HP

深川市立病院

田畑陽美（たばたはるみ） 議員
「民主クラブ」

少子化対策について
全庁的に支援策を検討する

Q 令和5年度の出生率は過去最低を更新した。少子化の要因である婚姻数の減少は、経済的な不安感なども背景にあるため、結婚を望む方々に対する経済的な支援も必要だと思うが、市の考えを伺う。

A 少子化が進む背景には、未婚化や晩婚化をはじめ、雇用状況、社会経済情勢、子育ての負担感、住宅の問題など、様々な要因があるとされています。このため、結婚支援を含め、雇用、出産、子育て、住宅など切れ目のない支援の在り方について、全庁的に検討を行う必要があると考えており、庁内における体制づくりを進める中で、有効な支援策を検討していきたいと考えています。

循環線の状況とダイヤ改正の考えは

Q 路線バス循環線の経路・ダイヤ改正から4年が経過しているが、改正前との乗車状況の変化はどうか。また、定員12人の小型車両による運行が開始されるが、今後の経路・ダイヤ改正等の考えを伺う。

A 令和2年4月の経路改正のほか、3年4月からの夏ダイヤにおいても、児童生徒の登下校に対応し運行ダイヤを見直したことにより、元年度は約1万7千人の利用で、途中、コロナ禍で利用者が減少した時期があったものの、5年度には約2万1千人となり、改正前に比べ利用者が増加しています。このため、現段階で改正の考えはありませんが、今後も運行事業者と情報交換を継続し、利便性の向上や利用者の確保を図っていきます。

市内路線バス「循環線」：市HP

8月から運行開始予定の路線バスの小型車両

まつもとまさひろ
松本雅祐 議員
「令和公明クラブ」

軟骨伝導イヤホンの導入は当面は現状の運用を継続

Q 清潔で音声明瞭、音漏れがない軟骨伝導イヤホンは、耳の聞こえづらい方との大きな声での会話を避けられ、プライバシー保護の観点からも有効と考える。市役所窓口対応における導入の考えを伺う。

A 本市では、個人情報などが含まれる相談があった場合は、必要に応じ個室に案内しており、現状、窓口対応で特段の支障は生じておらず、一部の窓口に設置している助聴機の利用もほとんどなく、来庁者の皆さんから現状の対応以上の要望などを伺っていないこともあり、当面は現状の運用を続けたいと思っています。今後、状況の変化などがあった場合は、その都度、対応を考えていきます。

不登校の児童生徒の学びの保障は

Q コロナ禍から不登校の児童生徒が増え、理由が多様化しており、以前までは学校復帰が目標とされていたが、環境も変化している。不登校の児童生徒の学びを保障することについて、市の考えを伺う。

A 本市では、教育支援センター「しらかば教室」を拠点とした学びの場のほか、タブレット端末を活用した遠隔授業やデジタルドリルなどにより、学校以外でも学べる環境を整備し、できる限り学びの保障に努めています。不登校の児童生徒への支援については、教育行政方針で社会的自立と学校復帰に向けた支援を行うとしていることから、一人一人に寄り添った対応と学びの保障に取り組んでいく考えです。

深川市教育支援センター：市HP

教育支援センター「しらかば教室」

掲載以外の質問項目

質問内容は、深川市議会YouTubeチャンネルやホームページの一般質問通告表で確認できます。

深川市議会 YouTube チャンネル

一般質問 通告表

■宮澤　孝司 議員
- 公立高校の給食について
- 補聴器の利用について
- 他自治体との交流について

■有働　正夫 議員
- いじめについて

■松原やす子 議員
- 家屋のアスベスト問題について
- 地方自治法の改正案について

■佐々木一夫 議員
- 畑地化促進事業に伴うソバ生産の影響について
- 食料・農業・農村基本法について
- 教員の過重労働負担軽減と社会的影響について
- 職員労働組合事務所について
- 市立病院診療放射線課管理職員の市議会に対する虚偽報告について
- 公園及び学校のカラス対策について
- 放置されている火災家屋について

■新田　　旺 議員
- 熊などの有害鳥獣対策について
- 独自財源確保の取組について

■大前　昭代 議員
- 更年期障害の支援について
- 保育士の働き方改革について

■伊藤美恵子 議員
- 中学校の制服購入費の助成について
- 身寄りのない方への終活支援について

■村上　　誠 議員
- 深川市農業振興計画について
- 中小企業支援事業について

■田畑　陽美 議員
- 町なかの活性化について

■松本　雅祐 議員
- 地域医療における市立病院の対応について
- 小学校配置方針について
- 道の駅ライスランドふかがわのオストメイト対応トイレについて

全国市議会議長会表彰

第100回全国市議会議長会定期総会において、本市議会より鶴岡議員、太田前議員が全国市議会議長会表彰を受賞し、近沢議長から表彰状を伝達しました。

左から鶴岡議員、近沢議長

- **鶴岡　恵司**　議員（18代議長）
  （議長４年表彰）
- **太田　幸一**　前議員
  （議員20年特別表彰）

複合施設整備特別委員会
深川駅周辺複合施設建設基本設計を了承

深川市議会では、令和５年第４回定例会において、複合施設整備特別委員会を設置し、これまで委員会を３回開催し、基本計画に基づく、中央公民館の「生涯学習機能」とバスターミナル機能となる「交通機能」に、町なかのにぎわい創出につながる「交流機能」を加えた複合施設の基本設計について了承しました。

また、令和６年第２回定例会では、これまでの調査経過について、宮澤委員長が中間報告を行いました。

今後は、基本設計に基づく実施設計の段階に移行するため、実施設計案及び施設の管理運営に係る審議等を適切な時期に行うため、継続して調査を行っていきます。

宮澤複合施設整備特別委員長

これまでの主な調査・検討経過は以下のとおりです。

第１回（令和５年12月６日）	正副委員長決定
第２回（令和６年１月30日）	基本設計案、市民説明会及びパブリックコメント等の実施、都市再生整備計画について調査
第３回（令和６年３月25日）	市民説明会及びパブリックコメント等の結果、最終的な基本設計を確認し、中間報告を行うことを決定

問合先：深川市議会事務局内

〒074-8650　深川市２条17番17号
電話0164-26-2282（直通）

YouTube　深川市議会YouTube チャンネル

深川市議会 公式ホームページ

編 集 後 記

第２回定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。一般質問最終日には、納内小学校の６年生が傍聴に訪れ、児童の皆さんはメモを取りながら熱心に耳を傾けておられました。深川市の将来を担う子供たちに期待しています。

議会だよりでは、本市のまちづくりに向け、議会でどのような議論がされているのか、市民の皆さんにできるだけ分かりやすくお伝えできるよう、引き続き努めてまいります。

広報編集委員会副委員長　山本　時雄